

第200回 令和8年3月24日（火）

**「令和7年度の最後の校長通信です。」**

短い春が過ぎ、半年近く続く暑い夏が恒例になりつつあります。10月の第2週ごろまで30度を超える日があったのに、その後は十年に一度の暑さと言っても今までと比べればしのぎやすい日が続きました。11月の半ば過ぎに一気に寒くなって、秋の短さを感じました。夏を思えば冬も暖かいのかなと思っていましたが、最強寒波は首都圏でも氷点下となり、しっかり真冬が到来しました。そして日が暮れるのが徐々に遅くなり、短い春が来て、きっと連休のころにはまた真夏日が復活するのでしょうか。

こうして1年が瞬く間に過ぎ去り、次の1年が始まります。4月は別れのあとの新たなスタートを迎える月です。3月の寂しさは4月の忙しさの中に埋もれ、いつの間にか新しい生活が日常となってそれまでの過去は懐かしさとともに記憶の一部となっていきます。

同じような生活が続くと1年を繰り返しているような気持ちになることがあります。繰り返しの1年は早く感じます。年齢を重ねるごとに1年が早くなるのもそういうことかもしれません。

みなさんにお話ししておきたいのは、いま生きている一瞬は偶然の積み重ねです。一瞬、一瞬、新しい時間が積み重なっていきます。似ているように見えても同じ一瞬は絶対にありません。

過去は変えられませんし未来はわかりません。私たちは今という瞬間にだけ生きることができ、自分の意思で影響を与えることができます。

今を大事にしてください。そして今を体験できるのは生きていることの証です。

失敗や挫折、不安や悩み、四苦八苦と言いますが生きることは簡単ではありません。人間として生きるということは考えることを止めずに生きるということです。考えられるからこそ成功もあるし辛いことも体験します。それでも考えることができるということはどれだけ素晴らしいことかわかりません。

1年にわたり言いたいことや伝えたいことをたくさん書いてきました。授業にしたら何時間分になるでしょうか。私はみなさんに教室で教える機会がありません。集会などで伝える言葉には限りがあります。「校長通信」は私の言葉を聞きたい人が聞きたい時間に見ることができます。せっかく川和高校の素晴らしい生徒さんたちと会えたので、たくさん語らせていただきました。

もし縁があって来年もこの学校の校長でいることができたなら、4月に201回目を載せたいと思います。まだまだ話したいことがありますし、これからも増えていくと思います。それではみなさん、元気に今を生きてください！